

## I 団体の概要

令和2年7月1日現在

団体名	公益財団法人 姫路市中小企業共済センター				
団体所管課	産業局 商工労働部 労働政策課				
設立	昭和49年(1974年) 12月 1日				
資本金	100,000千円	市出資金	100,000千円	100%	
設立目的					
退職金共済事業をはじめとして中小企業勤労者等に対する総合的な福祉事業を行うことにより、中小企業勤労者等の福祉の向上を図るとともに、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与することを目的とする。					
寄附行為(定款)に掲げる事業					
1 所得税法施行令第73条第1項に基づく特定退職金共済団体として行う退職金共済事業					
2 中小企業勤労者等の生活安定に係る事業					
3 中小企業勤労者等の健康の維持増進に係る事業					
4 中小企業勤労者等の自己啓発・余暇活動に係る事業					
5 中小企業勤労者等の財産形成に係る事業					
6 中小企業勤労者等の老後生活の安定に係る事業					
7 その他法人の目的を達成するために必要な事業					
主 な 事 業	事業名	R3年度事業費 (予算額)	事業概要		
	福利厚生事業	170,340千円	健康管理事業、余暇活動事業及び余暇施設利用補助		
	退職金共済事業	863,058千円	特定退職金共済事業		
	慶弔給付金事業	188,134千円	慶弔見舞金の給付		
	特別弔慰金等給付 共済事業	15,563千円	死亡特別弔慰金等の給付		
役 職 員 数 (注1)		常勤(注2) (うち市派遣)	非常勤	一般職 (うち市派遣)	嘱託・ 臨時等
	役員数	3人(0人)		職員数	4人(0人)
	役員平均年齢(常勤)	63.0歳		役員平均年収(常勤)	3,174千円
	職員平均年齢(一般職)	48.8歳		職員平均年収(一般職)	5,464千円
年度		H30	R1	R2(決算見込み)	
市 か ら の 財 政 支 出 等	委託料				
	補助金	62,197千円	62,245千円	63,116千円	
	貸付金 (年度末残高) 損失補償の対象 となる借入金				
財 務 概 況	当期収入	1,209,292千円	1,230,767千円	1,104,621千円	
	当期支出	1,217,931千円	1,236,072千円	1,020,248千円	
	当期収支差額	△8,639千円	△5,305千円	84,373千円	
	次期繰越収支差額	73,683千円	68,378千円	152,750千円	
	総資産	4,618,852千円	4,712,276千円	4,745,708千円	
	総負債	4,280,009千円	4,362,390千円	4,286,905千円	
	当期正味財産増減額	97,328千円	11,043千円	117,077千円	
正味財産	338,843千円	349,886千円	458,803千円		
ホームページアドレス	<a href="mailto:kyosai@himeji-kyosai.or.jp">kyosai@himeji-kyosai.or.jp</a>				

注1: 役員平均年齢、役員平均年収、職員平均年齢、職員平均年収には、市からの派遣職員は含まない。

注2: 常勤役員には、週29時間以上勤務する常勤的な非常勤役員を含む。

## II 基本方針

### 1. 団体の前計画期間（平成28年度～令和2年度）における主な取組実績

インフルエンザ予防接種の補助を実施し事業を充実させ、また、年間1000事業所以上訪問することで新規加入事業所を増やしていくとともに、脱会防止を図った。  
センターの安定的運営のため新規職員を1名採用した。

### 2. 団体を取り巻く環境・経営上の課題

終息の見えない新型コロナウイルス感染拡大にともない、安定した事業提供が困難な状況である。現在、会員事業所及び会員を支援する数々の事業を実施しているが、更なる事業の提供や終息後の対応を考えなければならない。  
また、前期計画では新規職員を2名採用する目標であったが、1名採用に留まっている。事業の充実やセンターを安定的に運用するため、計画的に職員を採用することが必要である。

### 3. 団体の将来像（ビジョン）

姫路市内の事業所の大多数は中小企業であり、産業及び経済的にも重要な役割を担っている。しかし、中小企業を取り巻く環境は厳しく、大企業と比べて、景気や雇用条件等様々な観点から格差が生じているのが現状である。また、終息がみえない新型コロナウイルス感染拡大により、中小企業の経営が非常に厳しい状況である。  
センターは、中小企業の人材確保及び定着のため、今一層の中小企業の相互扶助による福利厚生制度の共同化や充実化に取り組み、会員の福祉の向上と生活安定を図るとともに、中小企業や地域経済の振興及び地域社会の活性化を促進する役割を果たす。

### 4. 団体の改革の方向性

会員へのニーズを把握すると、当センターの職務時間外での福利厚生を希望することやスマホ等での申込み等を可能にする要望が多数ある。  
その為、来年4月からアウトソーシング社のリロクラブと提携し、職務時間外での福利厚生を提供する予定である。  
また、現在も、チケット関係ではスマホ等からの申込みを実施しているが、更なる利用拡大に取り組む。  
今後も多様な会員のニーズに対応するよう改革する。

### Ⅲ 健全経営に関する計画

計画期間：令和3年度～令和7年度

#### 1. 経営目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福利厚生事業の充実</li> <li>・会員数の増加</li> </ul>
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の福利厚生事業に加え、アウトソーシング社と提携することにより福利厚生サービスを増加させる。</li> <li>・未加入事業所への勧誘訪問を強化する。</li> </ul>

#### 2. 数値目標・指標

健全経営に関する数値目標	令和元年度実績値	目標値（令和7年度）
会員数	39,723名	41,200名
事業所数	1,802事業所	1,850事業所

#### 経営目標達成に向けた取組みの進捗状況やその成果を測るための指標

- ・会員数を毎年200名増
- ・事業所数を毎年10事業所増
- ・訪問事業所数1,000事業所以上

#### 3. 事業運営の最適化

##### 事業の最適化及び事業実施方法の適正化

福利厚生事業	事業のマネリ化防止と魅力ある事業の確立の為、現事業の見直し及び新規事業の導入
退職金共済事業	責任準備金100%の維持及び資産の安全保管・運用の為、運用生保会社の健全経営の把握及び監視
慶弔給付金事業	財源確保の見直し
特別弔慰金等給付共済事業	加入数及び加入事業数の増加の為、勧誘活動の強化

利用者満足度の把握・改善	アンケートの実施及び事業参加者の要望事項を把握し、事業へ反映させている。
--------------	--------------------------------------

#### 4. 団体運営体制の改善

##### (1) 執行体制

役員体制	定款の記載内の理事及び評議員数で運営。
職員体制	健全な組織体制を確保するため、新規職員を計画的に採用していく。
リスク管理の強化	退職金の資産40億円の健全運営及び保管の為、運用生保会社の健全経営の把握と監視する。 複数人での決裁体制を継続し、業務管理について適宜見直しを行う。

##### (2) 人事・給与

「外郭団体の職員の給与及びその他の勤務条件に関する指導基準」への適合	姫路市の指導基準に現在全て適合している。
人材育成及び士気の高揚	全国中小企業勤労者福祉サービスセンター等の後援・研修会に参加し、能力向上に努める。

## (3) 財務管理

収入確保の取組み	財源の安定確保のため、会員数の拡大に努めるとともに、経費削減にも取り組む。
基本財産等の運用	国債及び定期預金(1000万円以下)のみ運用

## 5. 財務状況の見通し（試算）

年度		R3	R4	R5	R6	R7	
財	福利厚生事業	当期収入	173,717千円	173,833千円	173,956千円	174,079千円	174,202千円
		当期支出	256,467千円	173,833千円	173,956千円	174,079千円	174,202千円
		当期収支差額	△82,750千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円
	退職金共済事業	当期収入	880,157千円	880,746千円	881,369千円	881,991千円	882,614千円
		当期支出	880,157千円	880,746千円	881,369千円	881,991千円	882,614千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円
	慶弔給付金事業	当期収入	191,903千円	192,031千円	192,167千円	192,302千円	192,438千円
		当期支出	191,903千円	192,031千円	192,167千円	192,302千円	192,438千円
		当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	32,000千円	32,000千円	32,000千円	32,000千円	32,000千円
特別弔慰金等給付事業	当期収入	15,897千円	15,907千円	15,918千円	15,930千円	15,941千円	
	当期支出	15,897千円	15,907千円	15,918千円	15,930千円	15,941千円	
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	次期繰越収支差額	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	
法人事業	当期収入	10,046千円	10,053千円	10,060千円	10,068千円	10,075千円	
	当期支出	10,046千円	10,053千円	10,060千円	10,068千円	10,075千円	
	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	次期繰越収支差額	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
合計	当期収入	1,271,720千円	1,272,570千円	1,273,470千円	1,274,370千円	1,275,270千円	
	当期支出	1,354,470千円	1,272,570千円	1,273,470千円	1,274,370千円	1,275,270千円	
	当期収支差額	△82,750千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	次期繰越収支差額	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	
概況	総資産	4,712,950千円	4,742,950千円	4,772,950千円	4,802,950千円	4,832,950千円	
	総負債	4,336,100千円	4,365,750千円	4,395,350千円	4,424,900千円	4,454,400千円	
	当期正味財産増減額	△81,953千円	350千円	400千円	450千円	500千円	
	正味財産	376,850千円	377,200千円	377,600千円	378,050千円	378,550千円	